

第38回日本骨形態計測学会

The 38th Annual Meeting of Japanese Society for Bone Morphometry

テーマ

『骨形態計測に基づく骨治療の重要性を再考する』

会 期 : 2018年6月21日(木)～23日(土)

会 長 : 稲葉 雅章

大阪市立大学大学院医学研究科
代謝内分泌病態内科学・腎臓病態内科学 教授

会 場 : 大阪国際交流センター

〒543-0001 大阪市天王寺区上本町8-2-6
TEL : 06-6773-8182 FAX : 06-6773-8421

大会事務局 :

大阪市立大学大学院医学研究科

代謝内分泌病態内科学・腎臓病態内科学

〒545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3
TEL : 06-6645-3806

Ⅱ-1 週1回テリパラチド投与によるコラーゲン線維配向性向上と骨強度増加の関係

○木村 須田 廣美^{1,2)}、伊藤 哲平²⁾、高倉 綾³⁾、
高尾 亮子³⁾、兼平 裕也²⁾、磯谷 幸宏⁴⁾

¹⁾千歳科学技術大学 応用化学生物学科、²⁾千歳科学技術大学大学院 光科学研究科、

³⁾旭化成ファーマ株式会社 医薬研究センター、⁴⁾旭化成ファーマ株式会社 医薬営業企画部

Ⅱ-2 抗RANKLモノクローナル抗体が椎弓根スクリューの固定制性に及ぼす影響
—CT有限要素法による前向き研究—

○谷 聡二¹⁾、石川 紘司^{1,2)}、工藤 理史¹⁾、松岡 彰¹⁾、丸山 博史¹⁾、
江守 永¹⁾、山村 亮¹⁾、永井 隆士¹⁾、稲垣 克記¹⁾、豊根 知明¹⁾

¹⁾昭和大学医学部 整形外科科学講座、²⁾三楽病院脊椎脊髄センター

Ⅱ-3 CT-FEMによる椎体強度評価と骨粗鬆症診断への応用

○東藤 貢¹⁾、梅林 大督²⁾、原 政人³⁾

¹⁾九州大学応用力学研究所 自然エネルギー統合利用センター、

²⁾京都府立大学大学院医学研究科 脳神経機能再生外科学、³⁾稲沢市民病院 脳神経外科

Ⅱ-4 Expression change of circadian clock genes in murine osteocytes by
mechanical stimuli: implications for spatial distribution of sclerostin

○王 紫儀¹⁾、石原 嘉人²⁾、小田垣 直弥²⁾、イスライン イ¹⁾、上岡 寛¹⁾

¹⁾岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 歯科矯正学分野、²⁾岡山大学病院 矯正歯科

Ⅱ-5 経皮的椎体形成術(Balloon Kyphoplasty, BKP)後の隣接椎体骨折発生機序
—骨振動による動的解析—

○町田 正文¹⁾、南郷 脩史²⁾、久保田 省吾²⁾、野村 和隆²⁾、堀口 悠介²⁾

¹⁾横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 脊椎・脊髄外科、²⁾ラトックシステムエンジニアリング株式会社

Ⅱ-6 細胞周囲マトリックスを介した骨細胞への流れ刺激の数理解析

○亀尾 佳貴^{1,2)}、小笹 正裕²⁾、武石 直樹³⁾、安達 泰治^{1,2)}

¹⁾京都大学 ウイルス・再生医科学研究所、²⁾京都大学 大学院工学研究科、

³⁾大阪大学 大学院基礎工学研究科